

緩和治療科コラム

3. ACP (アドバンスケア・プランニング) をめぐる話題 (4) SDM : Shared Decision Making について

緩和治療科 科長 山川 宣

SDM は特に結論に迷うような事柄について、専門家や当事者がそれぞれの立場で意見を出し合い共有し、決定を重ねていきます。-ing がポイントで、IC のように「同意書にサインで終わり」ではなく、変わりゆく状況、当事者の心理の中で、意思決定過程を繰り返すことに意味があります。医療者は専門的な説明や見解、場合によっては個人の価値観も含めて意見を出し、患者側は生活・仕事・人生上の価値観などの希望等話します。

責任を両者が分かち合うのも重要です。医療者が最終責任を負うという姿勢は、責任の分散＝事後の患者側の後悔の念を和らげるのにとっても重要です。実際、本人が「もう毒物を投与してください」としても決して実行しませんから、最終責任が医療者にあるのは明白です。

責任の分散を考えれば、家族はキーパーソンだけではなく、なるべく多くの関係者が参加することが重要です。そうすることで、家族たちからも多様な意見が提出され、本人が「家族がそう言うなら、こうしようか」という決定もしやすくなります。

「明日は方針決定の重要な IC がある」と一度だけに全てを賭けるのではなく、機会を見て少しずつ話を進めていくのも良いでしょう。廊下の立ち話ですら、お互いの意見を知り、共有する過程として意味を持てます。

Medical News

2020年2月
Vol.152

Shinko Hospital

Contents

- 特集 脳神経内科紹介
- 開業医探訪 Vol.50
- 緩和治療科コラム
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:https://shinkohp.jp
発行責任者: 理事長 山本 正之
編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長
山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 🔍 検索

https://shinkohp.jp

神鋼記念病院 Medical News 2020

2



Information

第35回

研究カンファレンス (個の医療研究会共催)

日時 2020年2月27日(木) 18:00~19:00

会場 神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47)

演題 医学研究の科学的妥当性：量的研究の方法

演者 慶応大学 看護医療学部 杉山 大典 教授

その他 日本医師会生涯教育講座1単位申請しております。

お問合せ 神鋼記念会 総合医学研究センター 担当: 見山 TEL: 078-261-6711

特集

脳神経内科紹介

日本神経学会は「神経内科」から「脳神経内科」へ標榜診療科名を変更することを理事会で決定し、2019年4月に当院でも「脳神経内科」と標榜名を変更させていただきました。この背景には、心療内科や精神科と混同されることがある一方、神経系に関するコモンディジーズを診療する科であることが浸透していないことがあります。

当科では2017年度までジストニアという稀少疾患を中心に特色のある診療を行っていましたが、2018年度からは神経疾患全般を対象とする体制に変更しております。



脳神経内科 科長 古川 貴大
Takahiro Furukawa

神戸大学を平成18年に卒業。
総合内科専門医・神経内科専門医・
日本神経学会指導医などの資格を持つ。

一般的には脳卒中が入院患者の半数以上を占めることが多い一方、当院では脳卒中の急性期対応は主に脳神経外科が担っており、当科ではパーキンソン病やアルツハイマー型認知症などの変性疾患、てんかん、重症筋無力症、頭痛などの神経疾患を幅広く診療しています。当科では常勤は専門医 2 名のみですが、非常勤医師のサポートを受けながら、脳波や神経伝導検査、筋電図検査、神経エコー、CT、MRI、SPECT（シンチグラ

フィーの断層撮影）を駆使し、神経系のコモンディゼーズを診療する「脳神経内科」として診療させていただいております。

特に注力しているのはパーキンソン病の診療です。パーキンソン病は早期に診断して適切な生活指導と内服調整を行うことで機能予後に大きな差がつきます。副作用に注意しながら十分に切れ目なく症状が軽減し、積極的に日常生活を送ってもらえるようにきめ細やかなオーダーメイドの診療を行っております。パーキンソニズムを来す疾患として進行性核上性麻痺や多系統萎縮症、正常圧水頭症といったパーキンソン症候群があり、治療への反応性や予後が大きく異なるため、鑑別を正確に行うことが必要です。

神戸市では認知症の神戸市モデルとして、2019 年度から 75 歳以上の方に認知症検診の受診券を配布し、認知症の疑いがある方はさらなる精査を行って診断するという取り組みが開始されました。これ

により当科でも認知症の精査目的の紹介が急増しております。認知症はアルツハイマー型認知症が最も多く有名ですが、他にも血管性認知症やレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、嗜銀顆粒性認知症、神経原線維型老年認知症など多くの疾患があり、典型例以外は診断は必ずしも容易ではありません。当科では高次脳機能だけではなく全身の神経診察を行い、適宜画像検査や血液検査を加味して診断や治療を行っております。

もう一つ増加している疾患が高齢発症てんかんです。意識障害で救急搬送されて非痙攣性てんかん重積と診断がついたり、認知症疑いで紹介されて側頭葉てんかんと診断がつくというケースが増加しています。高齢発症てんかんは側頭葉てんかんが多く、痙攣や意識消失で倒れることが少なく、気づかれていないことがほとんどです。一般的な認知症のように緩徐進行性の経過ではなく、変動がある症状で発作性の発症様



式の場合は鑑別にあげる必要があります。その際は周囲の方からの問診が重要で、意識の途絶や凝視、口部や手の自動運動がなかったか確認が必要です。疑わしい場合はご紹介をご検討ください。

2020 年度からは専門医が 3 人となり、日本神経学会の教育施設にもなる予定です。地域の神経疾患の診療に貢献していく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



筋電図検査

開業医探訪

Vol.50 やまぐち内科医院



平成 24 年よりスタートしました開業医探訪も 50 回を迎えました。今回は阪神魚崎駅から南へ。魚崎郷の一角にある「やまぐち内科医院」へお伺いしました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

平成 17(2008) 年の 5 月、先輩からの紹介もありこの場所での開業を決めました。現在 15 年目に入っています。

— どのような患者さんが来院されますか？

近隣は元々酒蔵でしたが、阪神大震災で蔵が倒壊してしまいマンションや復興住宅が再建されています。近くに小学校があることから、近隣に住んでいる小学生からご高齢の方まで幅広く来院されています。疾患については、風邪や糖尿病をはじめ、さまざまな方が来院されています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

疾患や病歴はもちろん大切ですが、家族背景や家族構成の把握に努めています。独居の方や家族が遠方に住んでおられる方が多くなってきておりますので、有事に備えてコミュニケーションを図るようにしています。

— ひとこと

総合内科専門医として、プライマリーケアを続けていこうと思っています。また、医療は日進月歩で進歩しています。診療所ですので可能な検査や治療は限られていますが、日々自己研鑽を重ねて患者さんにできる限り還元できるように頑張っていきたいです。

やまぐち内科医院

〒658-0025 兵庫県東灘区魚崎南町 5-13-1
TEL : 078-435-1220
院長：山口務

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	/
16:00 ~ 19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診 土曜、木曜の午後、日曜、祝祭日
電話での受付は終了時間の 15 分前まで。